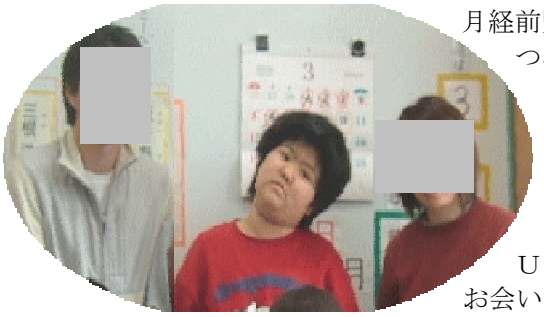
ゆきちゃん通信

2007年1月1日
№24
発行人　tomi

みなさん、ご無沙汰をしました。なんと１１ヵ月ぶりのゆきちゃん通信です。
昨年は由紀子の人生最大の危機があったり、大きな成長があったりと、本当に慌ただしい一年でした。
今回の通信は由紀子の２００６年をギュ～ッと凝縮してお伝えします。

３月　☆H野先生・U田先生　ありがとうございました！！☆



中学部一年生のあの嵐のような日々を支えてくださった先生方です。
月経前緊張症のせいで荒れて揺れていた由紀子に寄り添って、少しずつ少しずつ心のリハビリをしてくださいました。
学校へ行ってもなかなか行事に参加できなかった由紀子でしたが、
「何もしなくてもいい！学校に来れただけで花丸ですよ！」
という、先生方の言葉にどんなに救われたことか・・・。
おかげさまで、３学期は緊張症の為に欠席することもなくなり、
笑顔で学校へ行けるようになりました。
U田先生は４月から高等部の担任になられたので、
お会いするチャンスが少なくなって寂しくなってしまいました。

でも、H野先生は今年も中学部１年生の担任です。しかも、受け持ちの教室が前年と同じ場所！
４月になっても由紀子が間違ってH野先生の教室へ行くのではないかとみんなで笑った事でした。
今でも先生は顔を合わせると、由紀子のお気に入りのキャラクターのマネをして追っかけてきます。
「キャー！」と悲鳴を上げて逃げながら、先生が追いかけてくるのを楽しみにしている由紀子なのです。（笑）

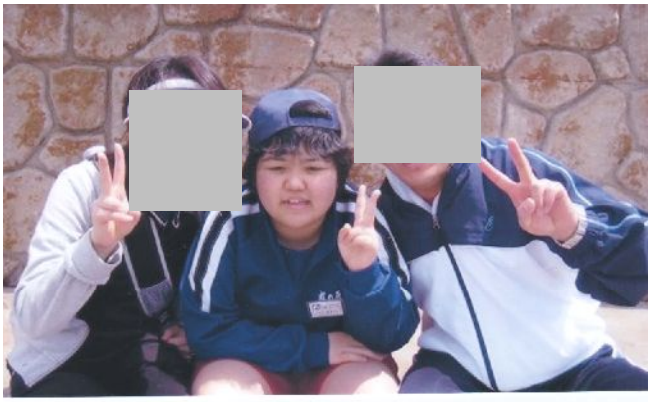
４月　中学部の２年生になりました。

クラス替えや担任の先生の交代があったので、環境の変化にまた戸惑うのではないかと心配をしましたが、先生方がゆっくりと由紀子のペースで慣らしてくださったおかげで、大きなトラブルもなくスムーズに学校へ通う事ができました。それどころか、去年できなくなってしまった事を、由紀子はどんどん取り戻していきました。
ここからは、由紀子の回復の記録です。

５月　運　動　会

去年の運動会はパニック騒動の真最中で、とうとう参加する事ができませんでした。今年も運動会の練習が始まった当初は下駄箱のところで靴を履く時になって「体育はしたくな～い！」と突然号泣したり、練習を拒否して教室を飛び出してホールで寝てみたりと、拒否反応が強かった由紀子でした。
先生はそんな由紀子の様子から言葉かけをすればするほど過敏になる事に気がつかれたようです。
それからは、スケジュール表で流れを確認させた後は、言葉かけを極力少なくしてみんなの流れに乗せる方法を取られました。　すると、どうでしょう！！
由紀子は自然にみんなの中で動けるようになったのです。
組み体操も、玉入れも、徒競走も、笑顔で練習する姿が見られるようになりました。(*^▽^*)すごい！！
残念ながら当日は雨で体育館での実施になってしまいました。

体育館が狭いので、自分たちの出場種目以外は親子とも教室での待機ということになりました。
他の学部の子どもさんの演技が見られず、ちょっと盛り上がりに欠けましたが、由紀子にとっては楽な環境での運動会になってよかったのかもしれません。由紀子はどんな形になろうともお弁当さえ食べられればそれで大満足だったみたいです。（笑）



２年３組の担任。Ｓ田先生とＩ永先生です。
私はこの先生たちの事を『魔法使い』と呼んでいます。「こだわり」というクサリでがんじがらめになっていた由紀子の心を魔法の呪文で緩めてくれました。
由紀子の表情がとても穏やかになりました。

給食の後、こうしてよく昼寝をしているようです。
学校に慣れたということでしょうが・・・
ちょっと、慣れ過ぎじゃない？
また太るぞ！！（笑）

6月　宿　泊　学　習

２年生の一番の行事は宿泊学習です。
諫早の青少年自然の家で２泊３日の日程で行われました。
この宿泊学習では由紀子にとって乗り越えなければならないか課題がいっぱいありました。
11 ㎞の登山の練習も大変でしたが、一番印象に残ったのは JR の列車への乗車でした。
　去年、列車の中でパニックを起こして以来、由紀子は JR に全く乗れなくなっていました。
今回の宿泊学習では諫早まで JR を利用しなければなりません。
今度こそダメだろう！そう私は思っていました。そして当日、由紀子はみんなと一緒に駅へ行く事はできましたが、どうしても列車に乗り込む一歩が出せずにみんなと同じ列車に乗ることができませんでした。
ダメなときは車も用意もされていたのですが先生は由紀子の心の葛藤を察して、「次の列車が来るまで待ちます」と言って、二人でホームに残りベンチに座って由紀子の心の整理ができるまでずっと待ってくれました。
余分な声掛けはせず、ただただ寄り添って待ってくれたのです。30 分後、次の列車が来たとき、由紀子は自分から列車の中へと入っていきました。
心配だった私はその様子を駅舎の陰に隠れてずっと見ていました。親の私でもあきらめてしまうような場面で、先生は由紀子を信じ、とうとう由紀子のこだわりの鎖を解いてしまいました。
やっぱり、この先生は魔法使いだと思います。

10 月　虹のまつり

今年は龍おどりで玉持ちをやりました。太ったのが幸いしてか、衣装がよく似合うと誉められました。(笑)　由紀子は自分からこの役をやりたいと言ったそうです。びっくりでした。

7月　緊　急　手　術

　あんなに苦労して参加した宿泊学習だったのに、２日目の登山中に発熱をして途中リタイヤとなってしまいました。
そして２日後、その熱が盲腸のせいだったとわかって緊急手術を受ける事になりました。
会話をうまくできない由紀子が自覚症状をうまく説明できない上に、感覚的に内臓の痛みに鈍いのか外見や触診での症状もはっきりわからず、CT 検査で盲腸だと解かった時には盲腸が破裂して、腹膜炎を起こしていました。ドクターからの思いがけない説明に私も主人もどうすればいいのかわかりませんでした。
由紀子が手術に耐えられるだろうか…入院生活のストレスは大丈夫だろうか…。その前に由紀子の命は大丈夫なのだろうか？
そんな私たちの気持ちに関係なく手術の為の準備が始められ、何枚もの承諾書にサインをしました。
日曜日の緊急手術。ＣＴ検査から２時間後には手術が始まりました。
何が起こるのか解らないまま手術室に連れて行かれる由紀子の不安を思うと胸がつぶれそうでした。

　おかげさまで手術は無事に終わり、由紀子は命拾いをしました。入院生活は３週間にも及びましたが、病院のスタッフのみなさんや、同室の患者さんたちに助けられてなんとか乗り切ることができました。この盲腸事件は由紀子の今までの人生最大の危機ともいえるこの出来事でした。
その中でのエピソードの一つ一つを思い出すたびにまわりの人に支えられていることを再確認して、感謝の気持ちでいっぱいになります。本当にお世話になりました。ありがとうございました。　　ゆきちゃん元気になりました！

11 月　職場体験

職場体験で農家のお仕事を体験しました。黙々と刈り取られた稲を運ぶ由紀子。「働く」という事を意識しなければならない時期がすぐそこまで来ていることを感じさせてくれました。

12 月　マラソン大会

今年も頑張りました。
他の場所ではノロノロ走っているのにカメラの前に来たらさっそうと走り出し出す由紀子です。さすがに長年、私のカメラのモデルをしているだけはあります。(笑)

ダイエット

7 月の盲腸事件の時に CT 検査で由紀子が脂肪肝だということが判明しました。退院の時にドクターからこのままでは生活習慣病になるからダイエットをさせるように言われたのですが、なかなか実行できずにいました。
その私の怠慢のせいで事態は最悪なことに…。
なんと！由紀子の体脂肪率が 57%になってしまったのです。(汗)
身体の半分以上が脂?！この驚異的な数字を見て私もやっと本気でダイエットをさせることを決心しました。運動が嫌いな由紀子をやせさせるには食事療法しかありません。でも、由紀子にダイエットの必要性を理解させるのは難しいので、量を減らしたり我慢をさせたりするのは無理！
そこで、『量や見た目を変えずにカロリーを減らす』をテーマにして、食品を特定保健食品や低カロリー食品に変えて頑張ってみました。
その結果、３週間で－4 kgのダイエットに成功！　　ヤッター！！
現在もダイエットは続行中です。　　頑張れ由紀子！頑張れ私！！(笑)

【編集後記】

明けまして
おめでとうございます。

昨年はたくさんの方々に支援していただき、
本当にありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願いします。

今年は由紀子も中学３年生になります。
そろそろ将来のことを考えなければなりません。由紀子にもきっと夢があると思うのですが、それを伝えてくれないので私たち親が勝手に決めなければなりません。　由紀子の心の中を覗くことができる鏡でもあれば…と、いつも節目の時に思います。　　tomi